

新庁舎建設特別委員会行政視察報告

期日

平成29年5月12日(金)

テーマ

山鹿市、玉名市の庁舎建設について調査研究

視察場所

山鹿市、玉名市

参加委員

津田桂伸(委員長)、
荒木俊彦(副委員長)、
桐原則雄、坂本典光、
源川貞夫、府内隆博、
佐藤真二

調査概要

山鹿市役所の概要

地下1階、地上5階の
免震構造で、事業費が約
32億円。

基本構想についての市民
からの意見

◆十分な駐車スペース
の確保、◆バリアフリー
への対応、◆環境面への
配慮(省エネ)など。

庁舎の特徴

◆わかりやすいサイン
の設置、◆市民利用の多
い窓口を低層階に集約、
◆市民のニーズや業務の
変化に対応可能なオープ

ンフロアの整備、◆ロ

ビーなどの公共空間を確
保した市民交流スペース
の整備など。

省エネや再生可能エネル

ギーの活用

◆LED電灯の採用、

◆雨水・井水の利用(ト
イレの洗浄水、屋外散水
栓など)、◆太陽光発電
の設置など。

防災施設の整備

◆災害対策本部室を新
設、◆約72時間運転可能
な非常用発電設備の設置

◆約7日間の給水容量を
持つ受水槽と緊急遮断弁
の設置、汚水貯留槽の設
置など。

問題点

◆喫煙場所設置の問題。

◆障害者用の点字プロッ
クが、総合窓口までしか
なく、各担当フロアま
で設置が必要。◆耐震か
ら免震に設計変更したこ
とにより、2・3億円の

事業費が増額となった。
◆カウンターが高いため、
住民と立ったままの対応

となっている点など。

玉名市役所の概要

地上4階、事業費が約
39億6千万円。

建設にあたって苦労され
た点

◆用地交渉が難しかつ
たこと。◆事業費を抑え
るため、誰でもが使用で
きる場所がないこと。ま
た、会議室が少ない点な
ど。

バリアフリーの取
り組み

◆庁舎の入り口
に段差がないこと。
◆議会傍聴席近く
までエレベーター
でいけることなど
の対応。

省エネや再生可能
エネルギーの活用

LED、高断熱
ガラス、自然採光、
地熱利用による空
調負荷低減が採用。
太陽光発電は設置
していない。



玉名市役所



山鹿市役所

・視察終えて・

大津町の庁舎建設の現状

熊本地震による人手不
足などの影響で事業費の
高騰が考えられ、シンプ
ルな構造や維持管理費を
含めたコスト削減や、事
業を進める上でのスケ
ジュール管理が重要だと
思われる。

熊本地震における町議会の対応⑤

町と定期的に意見・情報交換を行い、協力して事態の改善を図っています。

■平成29年6月5日(月) 全員協議会

- ①大津町復旧・復興計画の進捗状況について
- ②財政状況について
- ③グループ補助金の復興事業計画認定申請の状況

■平成29年6月22日(木) 全員協議会

- ①新庁舎建設基本構想案について

